

今月の一言

キーワード：指導

女子柔道のトップ選手 15 人が体罰を告発、桜宮高校の体罰問題より、日本中で体罰について考えられています。女子柔道の内容は、「愛のムチとは程遠かった。みんなの前で（コーチらが選手を）ガツガツ殴ったり蹴ったりして、ひどかった。代表選考の実権を握っている人たちに逆らうと『五輪に行けなくなる』『切り捨てられる』と、みんな泣き寝入りしていた」と明かした。ある実業団の指導者は、「（選手が）集団告発に踏み切った背景にあるのは、指導陣らの金メダル至上主義」と指摘した。「指導陣の情熱も分かるが、実際に柔道を嫌いになって辞めたいという子も増えている。彼女たちが告発した一番の理由は、次の世代にそういう思いをさせたくないから」と話した。

愛のムチ？自分たちの時代は確かにあったと思います。モンスターペアレンツが、何でも先生、指導者や教育委員会に言うことも、いかななものかと思います。また、親の躰や教育方針にも疑問が残ります。著書：「一流選手の親はどこが違うのか」著者：杉山美紗子（元プロテニスプレーヤー杉山愛の母）の本に「若年時のスポーツ参加の最大の目的は、長期的な健康や余暇活動の促進、またその後の人生での健全な競争意識の育成である」と書いてあり、アメリカ青少年サッカー協会での指導のあり方

- ① 子供が第一
- ② 大事なものは、勝つことではなく楽しむこと
- ③ ファンは応援するのみ。コーチはコーチに任せる
- ④ 怒りにまかせてとまらない
- ⑤ ボランティアのレフェリーを尊重する
- ⑥ ののしらない
- ⑦ 禁煙
- ⑧ 怖りにゴミを残さない
- ⑨ 大人は子供のよい見本となる

事業計画書の裏面

“毎日する事・躰をつくる15の教え”を実行

2013年3月25日

さいのう とおる

追伸：情報収集して、前向きにチャレンジしよう！